

活動風景



トアロード 株式会社マキシンさん

職人さんが一つ一つ、心を込めて帽子を制作する現場を見学させて頂きました。

萩原珈琲 株式会社さん

創業以来こだわりの炭火焙煎をインターン生が体験させて頂きました。



春期インターンシップ（2020年2月～3月）

法学部と理学部の学生4名を受け入れました。

まずは、二代表制の一翼を担う『神戸市会』の役割についての勉強会。

そして、役所とのレクチャーに同席したり、予算議会や委員会の傍聴を通して、政策議論の現場を知ってもらいました。

その知見を活かしチームで考案した政策を、『未来自治体全国大会 2020』という政策発表会に提案。新型コロナウイルスの影響で、活動を縮小せざるを得ない時期もありましたが、議員や市政を身近に感じてもらえるよう活動しました。



議員インターンシップの声



私たち4名は2月初旬から現在まで諫山議員のもと、様々な体験を行いました。

神戸の地元の企業への訪問、灘区の地域のイベントの運営、議会の傍聴、朝の街頭演説中のビラ配りといった、このような機会ではできない貴重な体験をすることができました。また今回はドットjpというNPO法人が主催する政策を立案し発表する大会に参加し30年後の神戸市を理想的なまちにしようと、主に3つの政策を考えました。**私たちが考えた理想のまちとは「ワークライフバランスを実現させ活気あふれるまち」です。**

1つめの政策は、就業・転職に役立つ資格の取得を円滑に行えるようにするために、AIを搭載した職業マッチングアプリを開発し自分に合った職を可視化し、また低価格で利用出来るように民間の資格学校に助成金を交付するというものです。

2つめの政策は、育児を仕事と並行して容易にできるようにするために企業主導型保育事業（企業が保育所を設置して運営を行うことを政府が助成する制度）を活発化させるというものです。

3つめの政策は、体を動かす機会をつくるためジムなどの運動ができる民間の施設の補助し低価格で利用できるようにします。さらに公園の整備や海岸の遊具の設置等を行い、子供の頃から体を動かす習慣を身につけられるようにするというものです。

以上の政策は必ずしも実現するとは限りませんが、今回の活動を通して政策を考えることの難しさややりがいを感じ、神戸市職員や議員の業務を体験することができました。

約2ヶ月間のインターンで貴重な場を提供して下さった諫山議員にインターン生一同、大変感謝しております。



▶ 神戸市会についてのレクチャー



▶ 予算議会に向けてのレクチャー



▶ 商店街でのお手伝い



★ 毎月末 市政報告会を開催しています。電話・メール等でご予約いただき、ぜひご参加ください。

いさやま大介事務所 〒657-0816 神戸市灘区国玉通 2-2-8 まどかビル2階東

TEL : 070-1930-2368 FAX : 078-271-3707 mail:info@isayama-daisuke.jp

討議資料